

# いっせーのせ

2021年

準備号

## 地域と大学をつなぐ防災情報誌

発行 長坂ふれあいのまちづくり協議会・神戸学院大学ボランティア活動支援室

高齢の方にSNSを使っていたいただき、世代間の防災交流を！！！！

長坂ふれあいのまちづくり協議会と神戸学院大学生が、「もっと防災を身近に!」との思いを共有して作成しました。私たちのことをよく知ってもらい、ともに作っていききたいという願いから、今号は「準備号」としました。

情報発信にはSNS活用も検討していきます。皆様のご意見をお寄せいただき、幅広い世代の方々に、地域に寄り添った情報をお届けできたらと願っています。

### 地域

「まず命を守る」心構えで

協議会では、長坂地域福祉センターを拠点に、防災訓練や広報誌を通じて防災啓発に力を入れています。この度、神戸学院大学の学生さんと共に新たな防災情報紙を発行することになりました。



**久保 晶一**  
長坂ふれあいのまちづくり協議会  
委員長

深刻な自然災害が世界中で発生しています。いつ自身にも災害が降りかかってくるか、大勢の方が不安に感じておられます。災害時には、「まず命を守る」心構えで普段から備えてください。そのために本誌の情報が皆様のお役に立てることを切に願っています。

### 大学

次が楽しみになる情報誌に！

防災に興味はあるけど何から始めたらよいのかわからない、実際に災害が起きたときのことを考えると不安だという方は多いと思います。そんな不安の種を一つでも解消できたらと願っております。



**上田 大樹**  
現代社会学部  
社会防災学科3年

今回、手に取って読んでくださった方が、次を楽しみにしていただける情報誌にしたいです。ぜひ、第1号、第2号と手に取って、学生と地域をつなぐ活動へのご協力をお願いいたします！

アンケートのお願い

ぜひ、読者アンケートにご協力ください



# 神戸学院大学ボランティア活動支援室 学生スタッフ災害班のご紹介

この情報誌を  
作成しました

神戸学院大学

ボランティア活動支援室

授業ではなくて、  
みんなボラン  
ティアです！

コーディネーター

協働

災害班

環境班

国際班

学生スタッフ

広報班

子ども班

医療班

支える

学生ボランティア

参加

自治会・学校・農村・被災地・病院・施設など  
地域社会

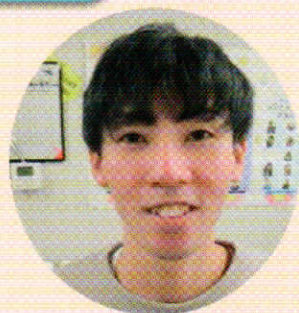


青木 翔佑  
現代社会学部  
社会防災学科1年次生

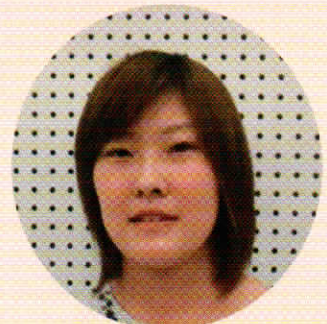
先輩！  
ボランティア活動支援室学生スタッフ  
災害班ってなに？  
具体的にどんな活動をしているの？

ボランティア活動支援室は、ボランティア活動に関心はあるが参加の仕方がわからないといった学生や団体に対して専門的なサポートをする、学生とボランティアをつなぐ架け橋となる場所です。専門的な知識を持ったボランティアコーディネーターと学生スタッフが協働して同じ学生の立場から、ボランティア活動に取り組む学生をサポートしています。学生スタッフは、「参加」「相談」「企画」を三本柱に、6つのジャンルに特化した班に分かれて活動しています。

災害班は、東日本大震災や熊本地震などの被災地や豪雨災害などによる緊急支援活動でリーダー的な存在として活動してきました。実際に現地へ行くだけでなく、「被災地応援物産展」など、神戸から行えることにも力を入れて活動しています。



下津江 悠太  
経済学部  
経済学科3年次生



大石 菜月  
法学部  
法律学科3年次生



## 緊急支援ボランティア

神戸学院大学では、東日本大震災や熊本地震、豪雨災害など、大きな災害が起こった際には、緊急災害支援ボランティアを行っています。学生のできる範囲で泥出しや家屋の片づけなどをお手伝いしています。

## 現地での被災地支援

被災地支援活動として東北復興スタディーツアーと熊本地震被災地支援ボランティアを行っています。東北復興スタディーツアーは、被災地に赴き東北の復旧・復興を学ぶ学習プログラムです。熊本地震被災地支援ボランティアは、阿蘇神社周辺の商店街や仮設住宅などで復興のお手伝いをしています。



## 被災地応援物産展

神戸からできることとして、被災地応援物産展を行っています。東北や熊本などで被災された企業の商品を取り寄せ、イベントなどで販売しています。金銭的な支援にとどまらず、神戸の方々に被災地の現状をお伝えして、自然災害の記憶を風化させないことを目指しています。売り上げは復興への募金などに活用しています。

## 2019年度からの長坂地域での活動紹介



2019年12月には、地域と大学防災連携プログラムを長坂地域福祉センターで行いました。防災教育の専門家である諏訪清二先生の講義や、非常食の試食会、実際に災害が起きた時の避難所運営を考えるゲームなどを行いました。



杉本 祐実  
グローバル・  
コミュニケーション学部  
英語コース3年次生



緒方 里帆  
現代社会学部  
社会防災学科3年次生

またこの度、長坂ふれあいのまちづくり協議会の役員の方々のお力をお借りして地域住民の皆様に向けた防災情報誌の作成・発行を始めました。すでにスマホ講習会やZOOMによる企画会議を実施、防災訓練にも参加させていただきました。



長坂のように高齢者が多い地域では、防災やさまざまな地域問題の解決に学生や大学との協力が有効です。地域に寄り添った防災情報の配信が成功することを応援したい。

地域の立地条件は様々であり、場所が違えば防災も変わってくる。例えば豪雨水害では、高台にある住居にお住まいの住人は、ハザードマップを見て避難所に行くのではなく、「自宅避難」の準備をしておくことが大切です。その場合、水や食料のストックがポイントとなるでしょう。

また、低地にお住まいの方の「支援者」として何ができるのかを事前に検討しておくことも大切です。すでに行政や専門機関の防災情報がたくさんある中で、いかに「地域に寄り添った情報」を配信できるか。他人事ではなく、「自分事」として住民の皆さんが取り組めるか。学生が自発的に地域に参画することで、それらを実現できるきっかけになってほしいと願います。

(2021年8月31日長坂・大学連携防災学習会の講義から)



**諏訪 清二先生**  
防災学習アドバイザー  
・コラボレーター  
防災教育学会会長

## さまざまな防災情報サイト

内閣府 防災情報のページ



首相官邸 避難はいつどこ



神戸市くらしの防災ガイド



Googleなどで検索もOK!

NHKニュース防災アプリ



NHK  
ニュース・防災アプリ

NHK  
ニュース・防災アプリ



## 地域と大学をつなぐ防災情報誌

発行 2021年10月15日  
 発行者 長坂ふれあいのまちづくり協議会  
 神戸学院大学ボランティア活動支援室  
 連絡先 〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518  
 神戸学院大学 ボランティア活動支援室  
 TEL 078-974-1551 (大学代表)  
 E-mail kgu-vc@j.kobegakuin.ac.jp